

# チャノキイロアザミウマ情報第3号

平成23年6月30日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除グループ

## 1 発生の状況

東浦町と蒲郡市に設置した黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、6月後半に第2世代の発生ピークとなり急増しましたが、おおむね平年並となっています（図1）。

また、ほ場周囲のイヌマキ（防風垣）におけるチャノキイロアザミウマの生息調査（県内カンキツ22ほ場およびブドウ12ほ場の10新梢の払い落とし虫数）では、カンキツで5.8頭（平年16.4頭、前年9.6頭）、ブドウで4.8頭（平年4.8頭、前年5.3頭）となり、カンキツではやや少ない発生量、ブドウでは平年並の発生量となっています。

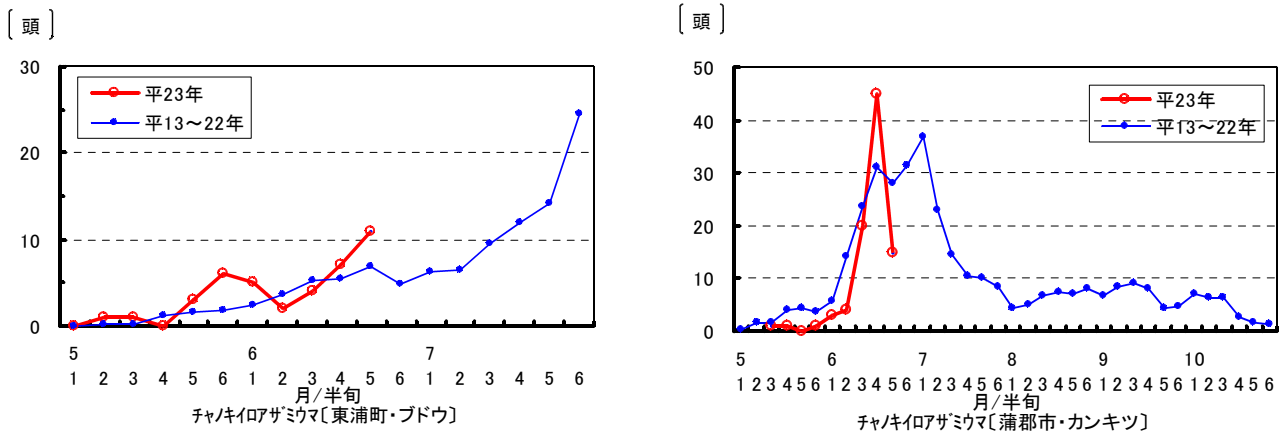


図1 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

## 2 発生ピークの予測と防除

例年7月に第3世代（中山間地域では第2世代）成虫の発生ピークを迎えます。成虫の発生ピーク時の薬剤散布が効果的ですので、発生の多いほ場では、表1の有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日および表2の防除薬剤を参考に防除しましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ発生ピークの予測日（JPP-Net）

	愛西	東海	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖	稲武
第1世代	5/27	5/21	5/26	5/22	5/26	5/25	5/22	5/25	6/08	5/26	6/13
第2世代	6/23	6/19	6/23	6/20	6/22	6/21	6/21	6/22	7/01	6/22	7/10
第3世代	7/12	7/08	7/13	7/08	7/11	7/10	7/10	7/13	7/20	7/12	8/02
第4世代	7/30	7/26	7/31	7/26	7/30	7/29	7/29	7/31	8/07	7/30	8/23

※アメダス平均気温を利用してあります。各地の気温は6月28日までは実測値を、それ以降は、豊橋では前年の値、それ以外の地点では平年値を用いて計算してあります。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
カンキツ	モスピラン水溶剤
	アドマイヤーフロアブル
	MR.ジョーカー水和剤
	ベストガード水溶剤
ブドウ	アドマイヤーフロアブル
	アディオン水和剤
	アーデント水和剤
カキ	MR.ジョーカー水和剤
	モスピラン水溶剤
	アドマイヤー水和剤
	アグロスリン水和剤